

【様式 1】

赤字で記載している留意事項、説明文等を削除のうえ、
本様式に直接入力して作成してください。

令和 8 年度戦略的大学改革・イノベーション創出環境強化事業 構想調書

法人名：△△大学法人△△ 大学名：〇〇〇〇大学
(担当者) 氏名：***** 所属・職：〇〇大学△△課長
電話番号：012-345-**** E-mail：***@**.ac.jp

(1) 取り組みの対象領域

公募要領 p. 2～3 に記載の重要技術領域等のうち、どれを対象領域とするか、自大学の位置づけや強み、差別化要因について、以下に記載すること。

(1) -1. 対象領域

例) AI・半導体

(1) -2. 自大学の位置づけや強み、差別化要因

(1)-1 に記載した対象領域について、自大学の位置づけや強み、他大学との差別化要因について、記載すること。

(2) 提案する取組の概要と詳細

(1) にて記載した事項を除く公募要領 p. 3～4 ①～③の事項について定量データを活用しつつ簡潔に記載すること

(2) -1. 取り組み概要

本交付金を活用した取り組みの概要を 2～3 行で簡単に記載すること。

(2) -2. 取り組み詳細

本交付金を活用した取り組みについて、詳細に記載すること。

(3) 提案する取組により想定される効果

本取り組みにより、(1) に示したテーマでどのような効果が期待されるか、またそれぞれの効果を測る指標としてどのようなものが想定されるか、それぞれ明確に記載すること。

(4) 提案する取組の具体的な内容と実施計画

公募要領 p. 4～5 ④の事項に関して、本交付金を活用した取組の具体的な内容およびその実施計画を、大まかなスケジュール感がわかるように記載すること。

実施計画は令和 8 年度から令和 10 年度までの 3 年間で年度ごとに分けて記載すること。

進捗を図るための KPI も明記すること

(5) データ提供体制について

公募要領 p.5 ⑤の事項に関して記載すること。

(全体に係る留意事項)

- それぞれの項目について、具体的かつ簡潔に記載すること。
- 補足説明用に図表、グラフ、ポンチ絵（A4サイズで印刷した際、文字が見えやすい大きさとする）を作成、添付することは妨げないが、それも含めた構想調書全体としてA4で5枚以内とすること（様式2、3は枚数計算の対象外）。
- 採択後、本構想調書は公表されることを考慮し、掲載する情報を整理・把握しておくこと（公表前に具体の企業、個人名、契約締結やその金額等の機微情報を修正、削除する機会はあるが、その際に修正・削除部分を適切に判断できるようにすること）。

【書式等に係る留意事項】

- フォントサイズは11ポイント以上とし、書体は明朝体（英数字はCentury）で統一すること。
- ページが複数となる場合は、総ページ入りのページ番号を入れること。